製　品　安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

会 社 名　神戸合成株式会社
住　　所　兵庫県小野市匠台１０番地
担当部門　品質保証本部
担当者名　（作成者）朱　浩一
（改訂者）種田　匠
電話番号　078-947-7717　ＦＡＸ番号　078-947-7716

作成　１９９７年２月１５日
改訂　２０１４年２月１０日

【製品名(化学名、商品名等)】　９９０００－７９Ｇ５８－２０６
ボディーコンパウンド(淡色車用)　２００ｍＬ

【物質の特定】

単一製品・混合物の区別：　混合製品
成　　分：水酸化アルミニウム、ポリエチレングリコール、セルロース 他
ＣＡＳ№：21645-51-2 25322-68-3 9000-11-7 他
国連分類：該当せず
国連番号：該当せず

【危険・有害性の分類】

分類の名称：本分類による危険有害物質には該当しない。
危　険　性：消防法による非危険物
有　害　性：健康に有害の恐れがある
環 境 影 響：知見なし

【応急措置】

皮膚に付いた場合：汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合　：直ちに流水で１５分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
誤飲した場合　　：吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】

消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク、建物等の冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
消火剤　：粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、アルコホームが有効である。

【漏出時の措置】

・ウエス等で吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な液

が河川等に排出されないように注意する。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い：・眼、皮膚および衣類に触れないように注意して作業する。
・容器を密封し、漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
・高温物、スパーク、火災を避け、強酸化剤との接触を避ける。
・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。

保管　：・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
・酸化性物質、有機過酸化物などと同一場所に置かない。

【暴露防止措置】

管理濃度：規定なし

許容濃度：規定なし

設備対策：取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具　：状況に応じ、有毒ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

【物理／化学的性質】

外観　：乳白色液体　　臭気：ワックス臭

沸点　：１５０℃　　融点：－１０℃

溶解度：水に易溶

【危険性情報（安定性･反応性）】

引火点　　：なし　　発火点：知見なし

安定性・反応性：安定（高温時を除く）

【有害性情報】

急性毒性：ラット経口　LD_{50}　３０g／kg以上

刺激性　：長期又は繰り返し接触する場合、皮膚、眼に刺激のあることがある。

【環境影響情報】

魚毒性：知見なし

分解性：知見なし

【廃棄上の注意】

・廃オートケミカル、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

・容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。

【輸送上の注意】
・運搬に際しては容器に漏れもないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

【適用法令】
消防法：非危険物

【その他】
引用文献　１）毒劇物基準関係通知集　改訂増補版　厚生省薬務局安全監修薬務公報社(1991)
２）国際化学物質安全性カード（ＩＣＳＣ）日本語版　化学工業日報社(1992)
３）１１８９２の化学商品　化学工業日報社(1992)
４）溶剤ハンドブック　講談社(1994)
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販東京
所在地：東京都杉並区和泉1-32-18
TEL:03-6379-3470